

上関地点 2023年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事排水の水質	4月11日 5月11日 6月12日 7月18日 8月7日 9月7日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.9~7.6	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	7mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	4月11日 4月25日 5月9日 5月30日 6月13日 6月27日	鼻線島において、4月に親鳥(雄・雌)およびヒナ2羽を確認し、5月には巣立ち後の幼鳥1羽を確認した。親鳥は各月で確認した。			写真1
	植生	7月24、25日	イヨカズラを6箇所13株、ジュウニヒトエを28箇所165株、クロムヨウランを2箇所9株、ビャクシンを1箇所1株確認した。			写真2
海生生物	潮間帯生物	4月7、9日	植物ではヒジキ、サンゴモ亜科など57種、動物ではアマガイ、カメノテなど43種を確認した。			写真3
	海藻草類		クロメ、サビ亜科など59種を確認した。			
	底生生物		ムラサキウニなど5種を確認した。			
	スナメリ	4月~9月 (週1回・計24日)	確認回数は計19回、延べ38頭を確認した。			
	カクメイ科等の貝類	5月9~11日 8月1~3日	カクメイ科の貝類を1個体確認した。 タイドプール※1 2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所調査を実施した。			写真4

※1 タイドプール：干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視調査計画以外の環境調査》

- カンムリウミスズメ(写真5)
4月に延べ3個体(長島の南[2個体])(宇和島の北東[1個体])を確認した。
- カラスバト(写真6)
計画地点において、9月に鳴き声を確認した。
鼻繰島においては、4月に姿、7月、8月、9月に姿と鳴き声を確認した。
- 鼻繰島のクロサギ(写真7)
4月から8月の各月で周辺の岩場等で1羽が確認されたが、既知営巣地の利用は確認されなかった。
- 鼻繰島のミサゴ(写真8)
7月に巣立ち後の幼鳥4羽を確認した。

《その他》

- 新たに営巣が確認されたミサゴについて (写真8)
小島では5月に抱卵を確認し、7月にヒナ2羽を確認したが、7月(2回目)の調査では親鳥・ヒナともに確認されなかった。
天田島では5月に抱卵を確認し、7月には巣立ち後の幼鳥1羽を確認した。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



(4月11日 親鳥雌)



(6月13日 親鳥雄)

写真2:植生



イヨカブラ



ジュウニヒトエ



クロムヨウラン



ビヤクシン

写真3:海生生物

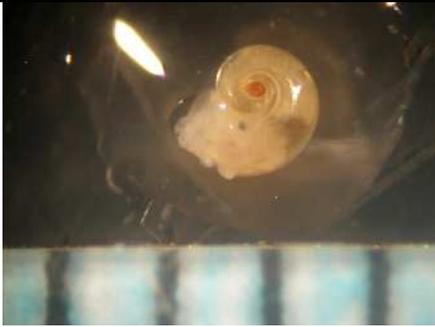


ヒジキ



クロメ

写真4:カクメイ科



(5月10日)

写真5:カンムリウミスズメ



(4月20日)

写真6:カラスバト



(9月22日)

写真7:クロサギ



(4月18日)

写真8:ミサゴ



(6月13日 ヒナ〔鼻線島〕)



(6月27日 親鳥〔小島〕)



(7月25日 幼鳥〔天田島〕)